

# 希望を語る

2000 年 8 月発足

20 年の歴史を持つ患者会“希望を語る会”ニュースレター



希望を語る会事務局:健康増進クリニック

TEL03-3237-1777 Fax03-3237-1778

[www.kenkou-zoushin.com](http://www.kenkou-zoushin.com) [info@kenkou-zoushin.com](mailto:info@kenkou-zoushin.com)

## 総合知を身につけよ

院長 水上 治

ウイルスというものは、インフルエンザもそうですが、表面にあるスパイクが変異して感染力を増す傾向にあります。さらに、PCR 検査が昨春の何倍もおこなわれていることで、感染者が極端に増大しているようにも感じ、不安を強くしている方も多いのではないのでしょうか。

しかし私は、収束の期待を持っています。それは以下の理由からです。

1. PCR 陽性者と悪性化する人の比率が、コロナ発生当初の比率と同等であること
2. スパイクの変異は 1 年で収束に向かう傾向があること
3. 集団免疫ができてきたこと

※ 現在インフルエンザや他のウイルス性感染症の患者が激減しているのは、うがい手洗いの実行率が増えたこともあるでしょうが、「ウイルス干渉」によるものでもあります。「ウイルス干渉」とは、1 つのウイルスに感染するともう 1 つのウイルスに感染し難くなるというものです

4. メッセンジャーRNAワクチン(ファイザーなど)は期待できること
5. ウイルスは低温・低湿度で活性化するので、春には収まるであろうこと

分析に長けた西洋医学がなぜ迷走したか、今回のことで「総合知」ということを考えさせられました。

部分知に優れていても、総合知に長けていないと、戦略的に勝てない。すなわち疫学、ウイルス感染学・防御学、免疫学、臨床感染学、心理学、精神医学などの分野をすべて目配りできないと、正しい判断ができないということです。

これら全体に通じている専門家が、世界的に見てもほとんどいなかったために、死者を家族から遠ざけ過ぎたり、人の少ない外気中でもマスクを奨励したりして、ウイルスを怖がり過ぎる結果を招いてしまいました。

癌戦略も同じで、総合知が必要です。大変なことではありますが、一人一人の患者さんが、癌の病態、検査や症状による現状把握、諸治療法(標準と非標準)のポイント、各治療法のリスクと効果、患者の心理面・精神面・ライフスタイル改善などの基本を学び、できる範囲で総合知を身に付けて、病気に対応していくのが一番効率的です。

新しい一年を、新しい目標をもって進んでいきましょう。

# 五行歌

小林美智代さま

時計の音が  
耳につく  
持ち時間を知らせ  
これからの日々を  
心して生きよと

行き交う人に  
おはようと声をかける  
返事がない  
まあいいか  
人はそれぞれ



## 誌面旅行



### アンテロープキャニオン

(AntelopeCanyon)「レイヨウの渓谷」  
アメリカ合衆国アリゾナ州近郊ナバホ族の土地にある渓谷で、水や風によって浸食された砂岩がトンネルのような地形を作っています。ナバホ族にとっては聖域であり、許可証を発行してもらい、敬意をもって足を踏み入るのが礼儀となっています。

2016年6月 M.M



# 米寿（88歳）所感

浅野伸一さま

2年（2020年）9月26日、私はついに米寿の誕生日を迎えた。生まれてからの日数を数えてみると、32,142日（365日×88年+閏年22）、これほどまでに長い年月を過ごしてきたのかと改めて感慨を覚えた。

私は自分史とまではいかないが、生まれてから現在までの西暦・和暦・年齢・干支を表にし、それぞれの年の社会情勢や自分を取り巻く出来事を、当てはめてみた。そうすることにより、この32,142日間の歴史の深さを認識した。

私が生まれたのは、関東大震災が起きた大正時代が終わり、元号が改められたのちの昭和7年（1932年）である。このころ、日本経済は未曾有の大不況となり、国内での生活が困難となった農家の次男や三男、未婚の女性たちは中国大陸や南米ブラジルなどへ出稼ぎに行ったり、永住せざるを得なくなったりと、波乱に満ちた時代だった。また、前年の昭和6年（1931年）には、この中国大陸の一部（旧満州国）で「満州事変」が起き、さらに昭和16年（1941年）には大東亜戦争という名の下に太平洋を取り巻く世界大戦となった。そして、4年間もの長き争いののち、昭和20年（1945年）8月15日、日本の大敗により終結。我々の生活はどん底に陥った。このとき私は小学生で、自分がどのような状況下に置かれているのか、よく分からずにいた。

その後、日本は不屈の精神力と忍耐力により復興し、75年後の今日においては、G7（先進7カ国）の仲間入りを果たすという、世界に誇る大国となった。

一方、私は幸いにも自分の生まれた土地で、行政の仕事に携わることができ、様々な経験をさせて頂いた。そして、退職後も地元で暮らすことの幸せ、親戚や地域の方々を支えられながら、高齢にも関わらず健康で楽しい日々を過ごせることは、感慨の念に堪えない。

今こそ私は88年間を生き抜いた一人として、どう生きて来たかを顧み、自分の置かれている立場で出来ることは何かを、考えなければならないと思う。そのためにも、より一層の人々との交流を深められるよう、謙虚に生きようと思う。

豊かで平和な社会に生きられることの喜びは、何事にも代え難いことであると、しみじみと感じている。

生きてきた 証し米寿の 秋半ば



令和2年9月26日  
米寿88歳の誕生日に記す

## 《院長と共に癌の勉強会》水上医師

2/2 (火) 15:00~16:00

「治したいなら総合知を養え！～多方面からアプローチ～」

### クリニックより診療時間変更のご案内

ラッシュを避けて治療予約をなさる方が多いため  
2020年8月より治療時間を下記の通り短縮しております

診察時間 10:00 ~ 16:00

治療時間 9:30 ~ 16:30

電話受付 9:15 ~ 16:00

引き続き除菌作業を行いながら診療させていただきます  
患者さまにも、マスク着用と手指の消毒のご協力をお願いいたします  
ご不便をおかけいたしますがどうぞよろしくお願いいたします

### 加藤医師よりお知らせ

2020年5月に「こもれびの診療所」を開院いたしました  
今後ともどうぞよろしくお願いいたします

〒116-0003 東京都荒川区南千住5-21-7-2F (旧 日下診療所)

TEL 03 (6806) 5457 FAX 03 (6806) 5758

[info@komorebi-shinryojo.com](mailto:info@komorebi-shinryojo.com)

<https://komorebi-shinryojo.com/>

※尚、毎週水曜日は今まで通り健康増進クリニックにて診療させていただきます

### ☆今月のお花☆根引松・シンビジウム・千両・柳



新年あけましておめでとうございます。  
本年もどうぞよろしくお願い致します。  
昨年は試練の1年となりましたが、色々な事をじっくり考える良い機会になったのではないかと思います。きっと今年は一歩進んでよい年になると思っています。  
微力ではございますが、お花で令和3年も皆様を明るく応援させていただきます。

シンビジウムの花言葉は

「飾らない心」「素朴」

「高貴な美人」「華やかな恋」

M.I

★「希望を語る」は患者さまの体験談や、また特技を生かしたメッセージ、いま語りた事、その他何でも、情報交換の場を提供させていただく冊子です。写真や原稿などございましたら是非、事務所またはスタッフまでお知らせください。お待ちしております